



第1号議案

令和2年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この21世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育を必要とする乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやり と 生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

～ 利用者の最善の利益の実現 ～

1.愛された育ちの保障（保育ケア・ワーク）

2.保護者や地域の子ども家庭支援（ファミリーソーシャル・ワーク）

3.保健・福祉・医療・教育との協働（保育ソーシャル・ワーク）

4.保育所から始める地域コミュニティ創り（コミュニティケア・ワーク）

5. 新しい子育て文化の創造（未来の親づくり）

3) 童心会の活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

新型コロナウイルス感染症により、毎年実施された団体からの講演会は中止。よって、今年度の講演活動はなく、内部の「法人だより」や「内部研修」にむけたによる執筆活動を強化した。

② 新型コロナウイルスと法人体制

i 令和 02 年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度早々に臨時休園となり職員のメンタルヘルスケアに努めた。また、保育園と保護者との「繋がり」を継続するため、リモートによる職員紹介やミニ朝会の Doushinkai・Film として動画を作成し、YouTube で公開。結果、58 動画をアップし、『6,765』の再生回数となった。緊急事態宣言が解除されても、行事ができない分この動画や限定したインスタグラムをもって園活動を保護者に周知することができた。

ii 人材確保

コロナ禍の中、人材確保は大学への訪問や就職活動において制限があり活動数は少なかった。また、令和 02 年度より ZOOM による面談も実施し、合計 4 名を採用することができた。結果、ホームページ、柏市合同就職説明会、ZOOM 面談、人材紹介、派遣職員を含め、職員 21 名(保育士 18 名、調理師 1 名、事務員 2 名)を採用確保した。

iii 理事長職の集中体制

令和 02 年度の理事長研修は、本来各保育園に四半期ごとにテーマに沿って研修会を実施する予定であったが、コロナ禍の影響により計 6 回の研修会のみとなった。また、本部から新たに『感染症対策チーム』を発足しメンバーを募った結果 5 名が集まった。主に令和 03 年度から始動するが看護師会等の部会とは区分させ、職員や保護者への独自の情報発信とテーマを模索し各部会への施策の決定を促すチームとした。他、献立会議を栄養士中心とした会議にシフトチェンジし、栄養士からみる献立会議を推進させ調理師との連携を見直すこととした。協同できる関係を改めて維持するための目的もあった。以上、目的意識を高め明確なテーマをもって開催し、組織化と人材育成の強化が計れた。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象)	6 回
園長会	12 回
主任会	6 回
献立会	2 回
保育所保健部会議	2 回
リーダー研修	6 回
合計	34 回開催

2. わくわくアートタイム(全園展開事業)

■ 活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて学習の基礎づくりができるようにする。

○絵画 … 様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。

○かきかた… 鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことを楽しみ、書く意欲を高めていけるようにする。

■ 内容

月に2回、主に午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動をする。

令和2年度は、コロナ禍による登園自粛期間があったため6月後半より実施。

○絵画 … 観察画・想像画・デザイン画

○かきかた… 線の練習・ひらがなの練習・習字(後半1回)ほか

	絵画	かきかた
4月	コロナ感染対策自粛期間のため中止	
5月		
6月	ぼくの家・わたしの家、お友達の顔(観察画)	名前、いろいろな線、○△うつし書き
7月	パイナップルの観察画	ひらがな①、グリッド点つなぎ
8月	海の中(透明シート使用)	ひらがな②、数字点つなぎ
9月	砂絵	ひらがな③、数字点つなぎ、グリッド
10月	マンダラぬり絵(色鉛筆)	ひらがな④、数字点つなぎ、グリッド
11月	長い紙に描いてみよう	ひらがな⑤、数字点つなぎ、グリッド
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑥、数字点つなぎ、グリッド
1月	○○○から想像して描いてみよう	ひらがな⑦、数字点つなぎ、グリッド
2月	スペシャルアート (各園サポートの先生が主になる活動)	ひらがな⑧、ルール置き換え、迷路
3月	リクエストアート(今までにおこなった中で、もう一度やりたいものを実施) (砂絵・お友達の顔)	

■ 活動を振り返って

- ・ 活動3年目、今年度よりサポートの先生は交代ではなく、担当を決めてくださった。そのため、年度初めに打ち合わせをして活動内容やねらい等を伝えることができたので、連携を取りながら進めやすくなった。また、ナレッジを活用して毎月の活動予定の確認をしたり、情報を共有することができた。
- ・ 2月にサポートの先生が主になり、考えた活動をやっていただいた。新たな絵画活動を取り入れることができて、経験が広がった。
- ・ コロナ禍で緊急事態宣言やまん延防止等警戒期間があったため、1～3月はUMに行けなかった。その間、ZOOMを使ってリモートでわくわくアートをおこなうことができた。新たな経験を楽しみ、離れていてもつながっていることを感じることもできた。
- ・ 鉛筆で書く力は、年度当初個人差がかなり大きい。しかし、経験によって確実に力がついていく。プリントをあらかじめ5枚綴じて用意し、○つけしたものを持ち帰るようにしたことで、途中でしかできなかったものは家庭で続きをやるなど意欲的になり、保護者の関心も高まったように思う。
- ・ 2月～3月は、就学を意識して小学校のチャイムを聴かせてははじめと終わりの合図にしたり、45分授業をイメージできるような内容にして、スムーズな移行を目指した。小学生になる喜び、期待を高めることにつながったように思うので、続けていきたい。

※ 資料添付

「わくわくアート通信」を保護者向けに年3回発行しています。

R2. 9月発行の通信を添付いたします。

さくらわくわくアート通信 9月号

こんにちは。月2回、さくらぐみでわくわくアートを担当させていただいています。
絵画・かきかたへの興味を広げながら表現力を伸ばしていくことや、学習態度の基礎づくりに
プラスになるような活動を考えています。今までの活動の様子をお伝えします。



絵画

《活動の様子》

◆友達の顔の観察画



◆大根の観察画



目の役割は？鼻は？口は？と考えながら、目→眉→鼻→口→輪郭→耳→髪の順で描いてみました。いつもと違う順で描くことで、観察力が高まりより生き生きとした表情になっています。

細長い紙に描いた大根！
実物の質感が表現できていますね。

◆パイナップルの観察画



五感を使って観察し、描いた後は調理さんの協力でおおいしくいただきました。

◆海の中（透明シートにボスカで描画）

カラフルな発色を楽しみまし



◆砂絵

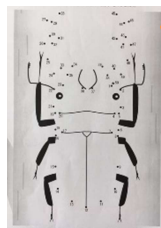
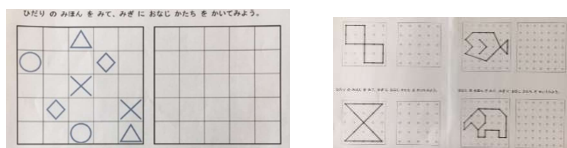


アラビック糊で描いた絵にカラーの砂をふりかけると“わー、まほうみたい！”と歓声が上がりました。アラビック糊の使い方、適量の出し方の、練習も兼ねています。

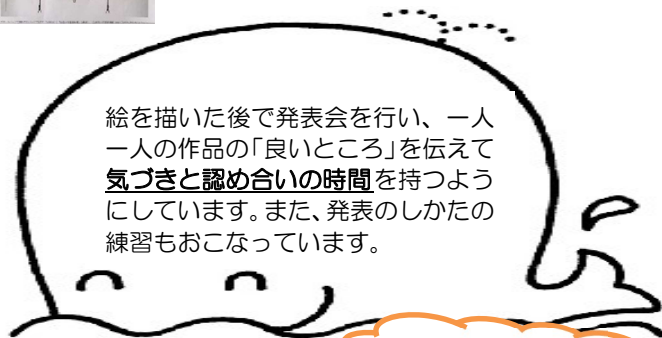
かきかた

《活動の様子》

◆ひらがなの練習は「できない、むずかしい」と感じてしまうと「やりたくない、べんきょうきらい！」につながってしまうように思います。「かけた、おもしろい！」と感じられるように、線の練習、迷路や点つなぎ、形の写し書きなど“書きたい気持ち”を伸ばし、鉛筆で書くことに慣れるようにしたいと思っています。



ひらがなクイズをやりながら、ひらがなプリント2枚、その他のプリント3~4枚を1時間でできるところまで進めています。全部終わらない場合もありますが持ち帰った後、無理がないようでしたら続きを進めてみてはいかがでしょうか？



絵を描いた後で発表会を行い、一人一人の作品の「良いところ」を伝えて気づきと認め合いの時間を持つようにしています。また、発表のしかたの練習もおこなっています。

わくわくアート

～寺子屋から未知への世界へ～

活動のひとこま

子どもたちの毎日毎日の日常から「ぬくもり、ふれあい、思いやりの心」を育み、「イキイキ、ワクワク、ハラハラ、ドキドキ」の時間が、興味・関心・好奇心。 まだ見ぬ“非日常”未知への世界へといざなう！

理事長 中山 勲

パイナップルの観察画の時のことです。「パイナップルは木になるのでしょうか、畑で採れるのでしょうか？お花は咲くのでしょうか？」と聞いてみました。写真を見て驚いた子ども達！「葉っぱは硬いから気をつけてね」というと、「敵から守るためにかたいんじゃない？カラスとかさ！」という素敵な発言が！いろいろな発見が楽しい時間でした。

3. わくわくタイム(全園展開事業)

■ わくわくタイムの概要

5歳児(さくら組)を対象に、午睡しなくなった時間に園バスで徒歩圏内では行けない公園や公共施設の社会資源を活用し園外活動をする。



園内(みんなの広場)にてアスレチック



柏リフレッシュ公園にてダンボール滑り



増尾城址公園にて斜面上り

年間実施表

園名\R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施回数
KS(柏さかさい)			16日	7日	18日	1日			1日	18日	16日	8日	10
				21日		15日							
KC(柏中央)			15日	10日	28日	14日	9日		25日	22日	12日	12日	11
											26日	26日	
UM(牛久みらい)			23日	14日	25日	8日	13日		22日		26日	23日	10
				28日			27日						
KT(柏しんとみ)			18日	31日	24日	3日	15日		17日	7日	4日	4日	12
						17日				21日	18日		
EC(柏 E C E C)			29日	9日	27日	10日	8日	26日	10日	14日	8日	25日	13
				27日		24日					25日		
実施回数	0	0	5	8	5	8	5	1	5	5	8	6	56

※ 年間活動回数 56 回

※ 4～5月緊急事態宣言により活動なし

ねらい・目的

●五感を刺激する活動

- ・ 四季を通じて自然豊かな季節を感じられる公園で、草木や花、木の実などの自然と戯れ(視覚・嗅覚・触覚)、体と心を満足させることで情緒の安定に繋がる活動とする。
- ・ 主体的な遊びを通して集中力を養うことができる。手足の指先まで集中することで体を理解し、全身を使った動きを楽しむことができる。遊びを通して人との関わり、自分で課題を作り主体性を伸ばす。斜面登りなどの“小さなできる”を繰り返す達成感から自信に繋がるようになる。園児の頑張りを見守り、応援する(受容する)ことで、踏ん張りや諦めない心、立ち向かう心である“**がんばること・つづけること・がまんすること**”の楽しさや強さを園児自身で見つけることができる。(主体性＝自分の意思・やりたいと思う気持ちから行動すること)
- ・ 公園や施設を利用させて頂くことの感謝の気持ちを込めて入出時にご挨拶をすることができる。

活動について

- ・ 各園/月 2 回とする。バスで片道 30 分圏内までを活動場所とし、約 1 時間前後を活動時間とする。
- ・ 五感を刺激し脳を活性化する「人環境、室内環境、外/四季環境、社会資源環境」を利用する。

●緊急事態宣言中(新型コロナウイルス対応)について

- ・ 緊急事態宣言が発令された期間は活動を控えることになった。
- ・ 牛久みらい保育園は Zoom を利用して 2 チームに分かれ障害物競技クイズを行った。

●バスでの移動について

- ・ マスクを着用する。
- ・ 窓は前後左右の四カ所を開けて換気をする。
- ・ バスの使用後は要所にアルコール除菌をする対策をとる(抗菌処理後はアルコール除菌は行わず、必要であれば水拭きすることとなった)。

活動内容

コロナウィルス感染予防のため、遊具を使えないなど活動内容は限られた。

その中でも子どもたちの最善の利益や成長と発達を考え、
興味をもって取り組めるような活動場所を選んだ。

活動内容:芝滑り/自転車乗り/森の中の急斜面上り下り/アスレチック/サッカー
マラソン/砂・水遊び/複合遊具遊び/自然の物遊び

活動場所

・コロナウィルス対策で人の少ない公園を避けることで活動場所は限られた。

中原ふれあい防災公園/柏リフレッシュ公園/増尾城址公園/洞峰公園/乙戸沼公園

バス移動以外での活動場所

園内(みんなの広場)/園庭

実施内容

活動場所	活動内容
増尾城址公園	木の根を利用した斜面上り/森散策/自然と遊ぶ
中原防災ふれあい公園	斜面でボール遊び/鬼ごっこ
柏リフレッシュ公園	ダンボールで斜面滑り/複合遊具遊び
乙戸沼公園	複合遊具の斜面&すべり台遊び/鳥観賞
洞峰公園	サッカー
保育園内	ドッジボール/ところてん鬼/アスレチック遊び/Zoom を使って障害物クイズ競走
園庭	水・砂遊び(夏)

活動を振り返って

期待 園バスが到着する前に先生がわくわくタイムの活動について期待を持たせて下さり、子ども達はわくわくした様子で元気に挨拶をしてくれます。

挨拶 バスに乗るときに一人ひとりが「公園までよろしくお願いします！」などのご挨拶や、運転者の私に「よろしくお願いします！」、降りるときにも目を見て「運転してくれてありがとう」などお礼をしてくれます。公園へ「よろしくお願いします。」帰るときの「ありがとうございました。」のご挨拶をしてくれます。挨拶や感謝などのねぎらう気持ちを伝えることが習慣となっています。相手の気持ちを思いやり、感謝とやさしい心が育っていることが分かります。

お約束 バスの中では、バスでのお約束(立ち上がらない・大きな声・音を出さない・窓を開けない)を守りながら公共性を継続的に学び、移動時間を楽しく過ごしました。

時間の有効活用 移動時間を差し引いたわくわくタイムの活動時間は 1 時間前後です。お話を聞く姿勢がとれないと遊ぶ時間がなくなってしまうため、今何をする時間なのかという意識をもちながら楽しい時間を大切にできるようになっていきました。

非認知能力 子ども達の遊びを見て、“成功体験”も大切ですが、その過程にある失敗を恐れず楽しめる“失敗上手”になれることが成功のプロセスで最も大切であると学びました。また、そのことが理事長の研修に何度も出てくる**がんばること・つづけること・がまんすること**の意味を通して、非認知能力(継続していく力)を育てながら生きる力になっていくことを意識して活動しました少し難しい遊びでも繰り返す事で“**ひとりでできた**”仲間の見守りや応援があつて“**みんなとできた**”困っている人に寄りそって思いやりをもって“**ひとのためにできた**”の体験が環境とたくさん遊びを通して経験することができました。

環境活用 各園によって、環境の違いはありますが、全園に共通していることは園児達が遊びの中で喜びや楽しさを共有する姿が毎回見られるということ。環境(室内環境/人環境/外環境・四季環境/社会資源の活用)を活用し、ヒトとの関わりを通して“楽しい”を共有することで仲間意識や思いやり(感情や心)が育ちました。

主体性を伸ばす 声かけは肯定的にします。自分達で選択をし、園児達が遊びを作れるような環境作りをしていくようにルールを多く設けずに、自分たちで遊びを作ることができる(主体性を伸ばす)ように肯定的な声かけを心がけは“これでいいのだ”と思うことで嬉しそうにしていました。私たちはその手助けや気づきから成長に繋ぐ役目だと思っています。たくさんの素晴らしい経験を通して、自分の価値を自分で肯定的に高めること。自尊心を高めていくことにも繋がる活動になっていると感じました。

4. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

- ① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、保育事業として延長保育促進事業を実施する。
- 開園して11年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育ててきました。新型コロナウイルス感染症まん延により初めての休園を経験したが、法人・園が一体となり「今できること」を模索し、直接電話し近況を伺ったり、映像を駆使し保護者や子ども達との繋がりを途絶えさせることなく新しい取り組みを行いました。
当たり前がどれだけ幸せなことだったのか感じる1年となりました。
- 制限のある保育活動を強いられるなかでも、幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育つと共に、なるべく多くの経験、体験をさせようと、かたちを変えながらも童心会が大切にする園行事を行う事により「自分でできる、みんなとできる、一のために出来た、助け合ってできた」を経験し、一つ一つ子供たちが話し合い、認め合い助け合いながら自分たちで作り上げ多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」と「やれば出来る！」事を実体験した。乳児組は各クラスでじっくり活動することで、30 分間の朝会にリーダーとなり楽しんで参加し、自尊感情、非認知能力を育んで来ました。法人職員による音楽リズム、絵画、文字、課外活動の経験により、体験を共有することで心を育て、知識を獲得することで自信をもち就学に繋げることが出来ました。
- お泊り保育はコロナ禍ではあったが、中止にすることなく、安全対策をしっかり行い3, 4歳児は夕涼み会として園内で20時まで友達と過ごし、5歳児はお泊り保育の目標のもと「今できる事」をみんなで考え、園内泊のお泊り保育を実施した。運動会、クリスマス生活発表会は乳幼児を別開催にするなど新しい試みの中に、新しい発見や良さを見出すことが出来た。
- 特別な支援が必要とされるお子さんや集団での生活が苦手なお子さんに対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センター、きりとも学園などの行政と連携を取り適切な支援を行い小学校との接続もスムーズに行う事が出来ました。
- 園活動においては保護者会本部役員、おやじの会の保護者からの協力をいただくとともに今年度は卒園児保護者の協力もあり、5才児の卒園遠足としてお寺訪問をさせていただくことが出来ました。

- 感染症対策のため地域との異年齢交流や姉妹園との交流、自園の異年齢児交流保育は行えませんでした。

2・3・4・5歳児の公園里親ボランティアで公園のトイレ掃除や地域の清掃活動、園内のお手伝い活動も今年度は中止となり人のためになる喜びを感じる経験が少なかったため、5歳児は朝の人数確認の為各クラスを周り、4歳児はお昼の放送を始め役割を務めることに対して「ありがとう」を言ってもらえる経験や成功体験・失敗体験を経験することが出来ました。

- 子育て支援まことちゃん検温、消毒など感染対策をしっかり行い予約制にして開放した。安全な場所を求め地域の親子連れが積極的に利用していた。人との交流を避けられているからこそ必要な場となり利用者の育児に対する悩みを聞いたり、こちらからメールで近況を伺ったりして、「一人ではない」ことを感じてもらえるように繋がりを意識し活動しました。

- 保育士養成校7校9名、

慈恵柏看護専門学校、近隣の中学校近隣の職場体験、柏陵高校2、3年生のインターシップは中止、近隣の小学校の街探検はビデオで参加し行うことが出来ました。

2) 児童の在籍状況(KS)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	24	48	25	48	145
5 月	24	47	25	48	144
6 月	24	48	25	48	145
7 月	24	47	25	48	144
8 月	24	48	25	48	145
9 月	24	48	25	48	145
10 月	24	48	25	48	145
11 月	24	48	25	48	145
12 月	24	48	25	48	145
1 月	24	48	25	48	145
2 月	24	48	25	48	145
3 月	24	48	25	48	145
計	288	574	300	576	1738

3) 保育園の保守管理(KS)

当園は、定期的な清掃及び修繕点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機、次亜塩素酸水を設置すると共に清潔を維持している。

今年度は感染症対策とし、幼児組が使用しているテーブルと椅子を抗菌したものと交換した。

4) 消防・地震計画(KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練 各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練 防犯訓練
引渡し訓練(地震)	年 1 回	
消火訓練	年 1 回	※職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	※119 番通報訓練 職員 AED, 心肺蘇生講習 職員 エピペン指導 職員 嘔吐処理 職員

※印はコロナ禍の為実施せず

5) 保健衛生(KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

新型コロナウイルス感染症防止策として園児、職員の健康観察や行政からの情報提供に努め、感染対策を徹底した。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年1回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(年1回)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。

急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員：健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法など職員研修を実施。

保護者：ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。今年度はコロナウイルス感染症対策の為、形を変えたり縮小して行う行事もあった。

太字は開催できず。

※ 誕生会(園児のみ)、映画会、身体測定、毎月実施

※ 実習生は随時受入(年間10名前後の受入予定)

本年度は 淑徳大学 1名、
東京教育専門学校 2名
江戸川学園おおたかの森専門学校 1名
東京未来大学 1名
埼玉学園大学 1名
東京こども専門学校 3名
千葉女子専門学校 1名

実施月	行事名
4 月	・進級式・入園式・春まつり
5 月	・バス遠足・こどもの日のつどい・4, 5歳児 尿検査・歯科検診・公園里親ボランティア
6 月	・個人面談・内科検査 ・さくら組 お泊り保育・公園里親ボランティア
7 月	・視力検査(5歳児)・七夕の集い・ひまわり組 夕涼み会 ・プール開き
8 月	・5歳児お年寄り交流(柏あんしん館)・夏まつり
9 月	・視力検査(4歳児)・引渡し訓練 ・プール納め・公園里親ボランティア ・たんぼぼ組 夕涼み会 ・ふれあいパーティー
10 月	・親子運動会・交通安全教室・秋の鑑賞会 ・ハロウィン・逆井小学校街発見
11 月	・10km ウォーク 5歳児・5kmウォーク 4歳児 ・バス遠足(1歳児～3歳児)・南部中学校 職場体験

	<ul style="list-style-type: none"> ・カスミ食育体験 ・さくら組 逆井小学校1年生との交流 ・柏陵高等学校 インターシップ ・土南部小学校街探検
12 月	・クリスマス生活発表会 ・内科健診
1 月	・マラソン記録会(1回目)
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン記録会(2回目) ・冬まつり ・柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園柏 ECEC保育園交流会(4歳～5 歳児 マラソン交流会) ・節分豆まき集会 ・視力検査 3歳児 ・公園里親ボランティア 5歳児
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひなまつり集会 ・おにいさんおねえさんありがとうの会 ・卒園遠足 ・卒園式

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 144 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(令和3年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	短時間 保育士	看護師	事務員
配置	1 名	1 名	27(1)名	4 名	1 名	3 名
区分	みなし	サポーター	栄養士	調理員	全職員46 名	
配置	2 名	1 名	1 名	5 名		

- ※ 理事長(スーパーバイザー)は別途カウントなし
- ※ みなし=子育て支援員
- ※ 保育士数のうち派遣保育士 3 名を雇用
- ※ 保育士(1)は育休中

5. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

① 保育所運営、②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。

駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、19 時以降延長保育を利用する園児は平均 30 名になる。

- ・ 特別な支援が必要な子への対応について、令和 3 年 3 月末まで7名(多動傾向、自閉症傾向、軽度の遅れ傾向、ダウン症)に対して、それぞれ補助職員が入り保育を行う。共に暮らすことにより、相手への思いやりの心も育まれ微笑ましい場面が多く見られる。
- ・ 里親活動
園外での活動が殆どのため、使用している一部の公園の里親活動を行う。「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよう公園の清掃活動を定期的に行う。
- ・ 基本的生活習慣を大事に衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、『ひとりでもできる みんなでできる 人のためにできる』ことを増やしていく。
- ・ 本園は、社会資源を活用し園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行っている。園バスを利用しての活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している。
- ・ 暮らしの中で、たくさんのスペシャリストに協力していただきながらたくさんの刺激ある活動を取り入れている。
【わくわくアート】【わくわくタイム】【幼児体育】【音楽リズム遊び】専門の先生にご指導いただくことにより職員の学びの場となり良い刺激になっている。
- ・ R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により園外活動行事を行うことが出来なかった。4. 5月は自粛期間も入り子どもたち同士の交流もできず、保護者と一緒に行う活動・行事も開催できない大変な1年であったが、園内でもできること、一緒に活動できなくても伝えることの工夫をして1年を乗り越えることが出来た。

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	12	40	19	39	110
5 月	12	40	19	39	110
6 月	12	39	19	39	109
7 月	12	40	19	39	110
8 月	12	40	19	39	110
9 月	12	40	19	39	110
10 月	12	40	19	39	110
11 月	12	40	19	39	110
12 月	12	40	19	39	110
1 月	12	40	19	40	111
2 月	12	40	19	40	111
3 月	12	40	19	40	111
計	144	479	228	471	1322

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日、電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける

幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に、園児が自分で作った雑巾を使用し水拭き掃除を行う

新型コロナウイルス感染症のため看護師が中心となり、毎日の健康観察表の実施、外部に方が入室する際の検温モニター手指消毒の徹底など行う。

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。8 月には、同ビルの KDDI と一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月1回	夜間(夕方)訓練1回実施
引き渡し訓練	年1回	保護者への周知
消火訓練	年1回	職員参加

不審者訓練	年1回	園児含め行う
防火装置の検査	年2回	消防署へ報告(義務年1回)
その他	年1回	119番通報訓練

5) 保健衛生(KC)

病気、怪我、感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した時には、病名を掲示板で周知すると共に、病気に負けない強い体づくりが大事だということを、全保護者へ食事、睡眠の重要性について再確認のため「ママ連メール」等で周知した。

このように、感染が拡大しないよう注意を払うことは勿論、園児たちの健康管理として年2回の内科検診、年1回の歯科検診を実施した。その他にも、尿検査を実施、職員に関しては、月1回の腸内細菌検査を実施している。看護師がクラスを巡回しての病気等の相談、子育て支援での育児相談会、怪我をした子の対応など、保育士にとって安心できる存在となる。

10月から3月までは感染性胃腸炎、インフルエンザが流行する時期のため、室内の消毒も塩素系の殺菌剤を使用し行う。設置当初から各部屋に加湿器を設置し、特に感染症が流行する冬時期には、掃除、消毒等、清潔に維持するよう心掛けた。看護師による衛生面での指導をリーダー会議で定期的に行う。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4～6月	自粛期間(4・5・6月活動なし)
7月	七夕の集い・園内夏まつり・防火教室 4歳児お泊り保育(園内)
8月	KDDI との合同避難訓練
9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5歳児)
10月	幼児親子運動会
11月	秋まつり・第1回マラソン記録会
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・内科検診
1月	第2回マラソン記録会・交通安全指導
2月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング・視力検査(3歳児)・冬まつり
3月	卒園遠足・ひなまつりの会・ありがとうの会・卒園式・入園説明会

※誕生会、身体測定は毎月実施(各クラスで行う)

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 108 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1 名	18 名	2 名	21 名

③ 現員(令和 2 年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	栄養士
配置	1 名	1 名	24 名	3 名	1 名
区分	調理員	事務員	看護師	全職員 34 名	
配置	3 名	(1 名)	1 名		

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士 2 名を雇用

※ 事務員は保育士兼務

6. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、保育事業として、病児保育事業(体調不良児対応型、病後児保育)延長保育促進事業も実施している。

また、定員の弾力化により園児の追加受け入れを行い、牛久市の待機児童の解消への貢献および、委託費収入の増へつながった。

- ・ R2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため園内活動、行事も内容変更や中止対応とした。また緊急事態宣言により4、5月に登園自粛要請を行った(期間中の当園率は約40-50%)。期間中法人 HP にて、家庭でも楽しめる製作や手遊び等の紹介や動画等を配信し、コロナ禍の家庭でも保育園と「つながる」活動を取り入れ、保護者にも好評いただくことができた。
- ・ 感染対策のため、茨城大学農業体験、保幼小連携活動等の地域との連携交流活動は中止、また千葉県(柏市)における宣言やまん延防止等特別措置に伴い、体操指導やわくわくアールタイム等の指導員の県跨ぎ移動も制限されたが、ZOOMを活用し、リモートでの活動を取り入れることでコロナ禍でも「つながる」活動を実施できたことは有意義であった。
- ・ 上記活動内容の変更や対応についても常に行政からの指示に従い、保護者へ情報提供、園内での感染対策や登園基準等の周知を行った。幸いに園児、保護者に陽性者等は出ず休園措置等もなく安全な運営を行うことができた。
- ・ 子育て支援センターとしおちゃんの活動についても、行政指示に従い、受入れ人数の制限や活動内容変更して実施。コロナ禍における地域の保護者とのつながりを深めながら地域の子育て仲間の支援を行った。
- ・ 病後児保育事業については、感染対策のため市役所保健センター利用者への事業案内ができず、新規登録16名(R1 年度:95名)にとどまり、累計では798名となった。年間通しての利用人数は14名(R1 年度:51名)であり、コロナ禍の影響をうける結果となった。

- ・保護者会『みらいファミリー会』については感染対策のため、夏まつり出店、ファミリー会文庫、園庭整備等の活動を自粛とした。年度末に卒園児保護者より申し出いただき、保護者のみで園庭整備、修繕作業を実施した。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	9	36	18	36	99
5 月	9	36	17	36	98
6 月	11	36	17	36	100
7 月	12	36	18	36	102
8 月	12	36	18	36	102
9 月	15	36	18	36	105
10 月	15	36	18	36	105
11 月	15	36	18	36	105
12 月	15	36	18	36	105
1 月	15	36	18	36	105
2 月	15	36	18	36	105
3 月	15	36	18	36	105
計	158	432	214	432	1236

3) 保育園の保守管理(UM)

新型コロナウイルス感染症対策のために保健部が中心となり、マニュアルを作成、園児、保護者の健康観察票提出、園内でも検温モニターや手指消毒器を設置して都度保護者への周知、協力依頼を続けた。また保育室内の清掃消毒の徹底及び玩具の定期的な消毒を行っている。

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月 1 回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・竜巻・夜間対応・抜き打ち訓練含む
消火訓練実習	年 1 回	職員参加
消防機材の点検	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 4 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児：嘱託内科医による内科健診(年 2 回)、嘱託歯科医による歯科健診(年 2 回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導、命の大切さを学ぶマタニティ体験の実施。

職員：健康診断(年 1 回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者：ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園(市内近隣)の感染症の状況などの掲示を行った。新型コロナウイルス感染症対策についても都度情報を掲示して、注意喚起を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4 月	・入園式
5 月	・春まつり(中止) ・こどもの日のつどい
6 月	・歯科健診
7 月	・保護者個人面談 ・七夕のつどい ・プール開き
8 月	・夏まつり(園内にて園児のみで実施) ・プール納め ・視覚健診(4 歳児)
9 月	・スペシャルデイ(宿泊無し、3・4・5歳児)
10 月	・親子運動会(4・5歳児のみ) ・秋まつり(園児のみ)
11 月	・5Kmウォーク(5歳児) ・秋のバス遠足
12 月	・クリスマス生活発表会(2日間に分けて実施)
1 月	・もちつき ・内科健診
2 月	・節分豆まき ・歯科健診 ・保護者個人面談(冬まつり) ・新年度入園説明会
3 月	・マラソン記録会 ・ひなまつりの会 ・卒園遠足(龍ヶ崎市) ・さくら組さんありがとうの会 ・卒園式

- ※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、身体測定、交通安全教室は毎月実施
 ※ 4・5 歳児は専門の崎野指導員による体操指導を実施、5 歳児は高間先生による文字の書き方、絵画指導、力公先生による園外活動を定期的実施

※ 実習生受け入れ(年間10名)

江戸川学園おおたかの森専門学校 1名 東京家政大学 1名
 東京家政短大 1名 東洋大学 1名
 つくば国際短期大学 3名(うち1名採用) 聖徳大学 2名
 東京成徳大学 1名

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	90名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	13名	2名	16名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(令和3年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士
配置	1 名	1 名	21名	3名 (うち 1 名は本部所属)	1 名 (本部所属)
区分	調理員	保育補助	用務員	事務員	全職員
配置	4名 (うち 1 名は派遣職員)	1 名	1名	1 名	34名

7. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日に開園し6年が経過する。流山市に隣接し他市からの問い合わせも多く、園見学に多くの方が来園されている。

事業は2事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお地域子育て支援拠点事業は隣接している為、市からは不認可だが園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為に行っている。

◇ 保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・ 昨年同様2週に1回、外部指導員による幼児体育は、非日常動作から脳神経や運動神経や動かして解る理解、発達の工夫を身に着けている。
- ・ 柏さかさい保育園の専門的先生による、音楽リズムセラピー(リトミック)も取り入れ、音楽リズムセラピーを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。幼児体育も同様であるが、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする。
- ・ 野菜や米を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さや感謝の気持ちを学んでいる。又柏さかさい保育園近隣の日暮さん大根の収穫経験は子ども達にとって貴重な体験であり、その後お家で食べる大根はより美味しく、保護者にも大好評である。ご迷惑にならぬよう続けていきたい食育体験となっている。
- ・ 地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを知る。日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事など歩く体力も意識して行っている。

◇ 地域貢献

- ・ 『地域交流会や子育て支援』を独自に行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けている。
- ・ 『公園里親活動』3, 4, 5歳児が園周辺の清掃と笹原第4公園の清掃活動を行い地域へ対するボランティア活動を行った。

- ・ 小学校接続を目的とした、小学校との交流はコロナの影響により実施はできなかったが、一人ひとりの引継ぎは丁寧に実施する。

◇ 保護者との共同

- ・ 柏しんとみファミリー会を中心に、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりとしていく。
クリスマスにはカードを作成して、保護者から子どもへのプレゼントとなりみんなに喜ばれた。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	6	38	17	35	96
5 月	9	38	19	37	103
6 月	8	39	19	38	104
7 月	8	37	19	38	102
8 月	10	39	20	38	107
9 月	12	39	20	38	109
10 月	13	39	20	38	110
11 月	13	39	20	38	110
12 月	13	39	20	38	110
1 月	13	39	20	38	110
2 月	13	39	20	38	110
3 月	12	39	20	38	109
計	130	464	234	452	1280

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎月第1水曜日 午睡時に職員による、安全確認と全体清掃日を実施

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	時間外訓練 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
防犯訓練	2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年1回	非常時に備えた訓練
防火装置の検査	年2回	消防署へ連絡
その他	年1回	119番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

コロナ感染症対策を徹底し、職員には園内研修を通して意識の向上を図る。保護者へも手紙の配布、園内ポスター掲示等により感染症対策の協力をお願いする。園児にも手洗い・うがい指導を実施し感染症対策を伝えていく。また病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員で意識向上させている。

熱中症対策やプール活動、SIDS対策についても、園内研修を行い安全に保育ができるように意識向上していった。

園児：嘱託内科医による内科健診(年1回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)。身体測定(月1回)尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員：健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法、又理事長研修をはじめクラスリーダー研修、子育て支援、事務、献立会議など童心会各園の担当職員研修を実施。

保護者：ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種、健診の確認。

6) 各種行事の実施状況(KT)

緊急事態宣言が発令された為、4月5月は実施できなかったが、解除後は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め、季節の集いなど小規模・短時間等工夫して感染症対策をしながら実施していった。

月	行 事
4	コロナの影響により実施せず
5	コロナの影響により実施せず
6	視力検査(5歳児) 手洗い指導(3, 4, 5歳児)
7	プール開き、歯科検診、七夕の集い、夏まつり
8	お泊り保育ごっこ(4歳児・3歳児)
9	引き渡し訓練、プール納め
10	お泊り保育ごっこ(5歳児) 親子運動会、秋まつり
11	交通安全教室、10キロウォーク(5歳児)、視力検査(5歳児)
12	クリスマス生活発表会、おもちゃつき、大掃除、視力検査(4歳児)、マラソン記録会
1	マラソン記録会、視力検査(3歳児)
2	節分、視力検査4歳児、冬まつり(お買い物ごっこ)
3	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式、引継ぎ式、入園保護者面談、

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・体操指導・音楽リズムセラピー・食育活動(大根ほり・さつまいも掘りなども行っている)、4,5歳児幼児体育
5歳児わくわくアート・5歳児わくわくタイム、表彰式、公園清掃

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 110名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

② 現員(令和3年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	18名	1名	3名
区分	看護師	みなし	事務 (子育て支援員兼務)	全職員31名	
配置	1名	5名	1(1)名		

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士3名を雇用

8. 柏 ECEC 保育園

1) 事業内容(EC)

柏 ECEC 保育園は、平成30年4月1日より開園し3年が過ぎた。

柏駅東口の駅近くということもあり園見学に来られる方も多い。

事業は2事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・プランターで稲や野菜、花を育てる経験をし、それを用いてクッキング体験に繋げていき、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。又柏さかさい保育園近隣の日暮さんの畑で行う大根ほり体験は、保護者にも好評で、土に触れたり、畑で育つ野菜に触れ収穫する体験は、駅前の EC 近隣では出来ない体験であり、園児だけではなく保護者にも好評である。また、エントランスに土・葉付きの大根を置くことで、参加していないクラスの園児や保護者も興味を持っていたいている。
- ・地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。近隣の立地上、行ける公園も限られており固定遊具で身体を活用しながら遊ぶ経験も少ない為、公園までの移動は徒歩だけではなくバスでも移動をし公園での遊ぶ時間を長時間確保できるように進めていった。
- ・特別な支援が必要なお子さんや集団での保育が苦手なお子さんに対して、柏市子ども発達支援センターや訪問支援事業など専門機関との連携を大切にし個々の育ちに対して、適切な支援を行った。
- ・外部や内部の専任講師による幼児体育・音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイムでは、日ごろの保育の中では見られない子どもの姿や成長を見ることができ、園児だけではなく、保育者も沢山の学びを得て成長できる時間となっている。また、それらを MT で共有することで、レベルを変えて他クラスでも取り組むことができ、保育の幅も広がっている。

◇地域貢献

R2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも、今までのように地域の方との関りが持てない環境下となったが、その中でもできることを、1つずつ大切に行った。

- ・園見学を通して、保育園についてまた(童)についてをしっかりと発信することで地域コミュニティの核となる場所があることを、伝えることができた。
地域の方の子育てに関する相談を受けることで地域の方との繋がりや、保育園の役割を広げていった。
- ・一時保育の受け入れも、少しずつ増やしていき一時保育の利用から入園に繋がったお子さんもいた。
- ・小学校接続を目的とした、幼保こ小連携及び小学校との交流(子ども、職員)を積極的に予定を組んでいったが、新型コロナウイルスの影響で協議会や柏第1小学校1年生との交流は中止となってしまった。。

◇保護者との共同

- ・ECファミリー会運営において、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりをした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、様々な発信をお願い事項やルールも今までになく増えたものの、温かく見守り沢山のご理解・ご協力を頂くことができ、コロナ禍においても少しでも園児や保護者、保育者仲間にとって必要な場所を、守ることができた。

2) 児童の在籍状況(EC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	9	32	17	31	89
5 月	9	32	17	31	89
6 月	9	32	17	31	89
7 月	9	32	17	31	89
8 月	9	31	17	30	87
9 月	9	31	17	30	87

10 月	9	32	17	30	88
11 月	9	32	17	31	89
12 月	9	32	17	31	89
1 月	9	32	17	31	89
2 月	9	32	17	31	89
3 月	9	31	17	31	88
計	108	381	204	369	1062

3) 保育園の保守管理(EC)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(EC)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため地震・火災・防犯の避難訓練を実施している。9月の防災週間には保護者の方とも年1回の確認ができるように引き渡し訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・午睡・夜間 抜き打ち訓練
防犯訓練	年2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(EC)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児：嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(4、5歳児)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員：健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法、玩具消毒(毎日)
看護師による保健衛生の園内研修も定期的に設定し職員の意識の向上に繋げている。

保護者：ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。感染症流行時には、ママ連メールやエントランスでの情報発信をし、保護者の方にも感染症への意識を高めてもらい園児の健康な身体作りを共に行っていった。

6) 各種行事の実施状況(EC)

R2年度は、新型コロナウイルスの影響により、行事の縮小・変更・中止を余儀なくされた。できる限り、形を変えて実施できる方法を模索した。

月	行 事
4	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、登園自粛期間月間
5	臨時休園・特別保育月間
6	通常保育再開
7	プール開き、七夕の集い、園内夏まつり
8	
9	引き渡し訓練、さくら組スペシャルディ(お泊り保育代替え) おじいちゃん・おばあちゃんへ手紙で繋がろう
10	運動発表会(4、5歳児)、秋まつり、ハロウィン、歯科検診(幼児のみ)
11	運動会ごっこ、ひまわり組スペシャルディ(お泊り保育代替え)
12	クリスマス生活発表会、もちつき、大掃除
1	内科検診
2	節分・豆まきの会、冬まつり(家庭で親子制作)
3	ひなまつりの集い、入園説明会、ありがとうの会、卒園式 マラソン記録会

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・幼児体育・音楽リズムセラピー
食育活動

7) 職員の充足状況(EC)

③ 定員(80名) 弾力運営 96名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	9	15	17	18	10	10

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

● 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	12名	2名	15名

④ 現員(令和 年月日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	19名	1名	2(1)名
区分	サポーター	看護師	事務	全職員 27名	
配置	2名	1名	(1)名		

※ 保育士数のうち派遣保育士6名を雇用

※ 栄養士は調理員と兼務

※ 事務員は保育兼務

< 以上 >